

## 海岸林の成長をさまたげる主な原因



天塩海岸のカシワ天然林の状況

カシワ林の前線では、夏に伸びた枝は、冬を越すとほとんどが枯死する。これを繰り返して、林はほんの少しずつ成長する。

天塩地方など道北の海岸にあるカシワやミズナラの天然林の前線では、夏に上に伸びた枝が、冬を越すと、ほとんど枯れてしまいます。このことから、樹木の生育を制限するのは、夏の環境ではなく、海から強い季節風が吹く冬の環境であることがわかります。そして、この海風には、大量の塩分が含まれていて、それが枝の葉痕から侵入して、葉痕の周辺→冬芽の基部→他の組織、と生きて細胞を次々に枯死させて枝全体に広がっていく様子が明らかになりました。

このことを基本として、海岸林の植栽成績を向上させるために、保護材料による枝の枯損防止方法、海風中の塩分を緩和する防風工の改良方法、土壌条件の改善方法、および塩害に強い樹種・系統の選抜・育成などについて、現在研究を進めています。



カシワの枝の塩害

枝に付着した塩分は、枝の葉痕から侵入し、内部の組織を枯死させる。褐色部分は枯死した組織である。